

市民委員会資料

所管事務の調査(視察)

川崎市中央卸売市場北部市場の概要について

資料 川崎市中央卸売市場北部市場の概要

別冊 川崎市中央卸売市場北部市場パンフレット

経済労働局

平成27年11月19日

川崎市北部市場の概要



●開場

1982(昭和57)年7月(今年で33年目)

●取扱品目

青果(野菜・果物)、水産物(魚・貝)、花卉(かき=切花、鉢物)、関連商品(包装資材、調理用品、乾物、食肉等)など

●面積

168,587平方メートル(東京ドームの約3.6倍)

●取扱数量(1日当たり、H26年実績)

青果:約425トン、水産物:約110トン

花卉:約17万本・束・個

●平均利用者数(1日当たり)

約4,000人

●場内従事者数

約2,000人

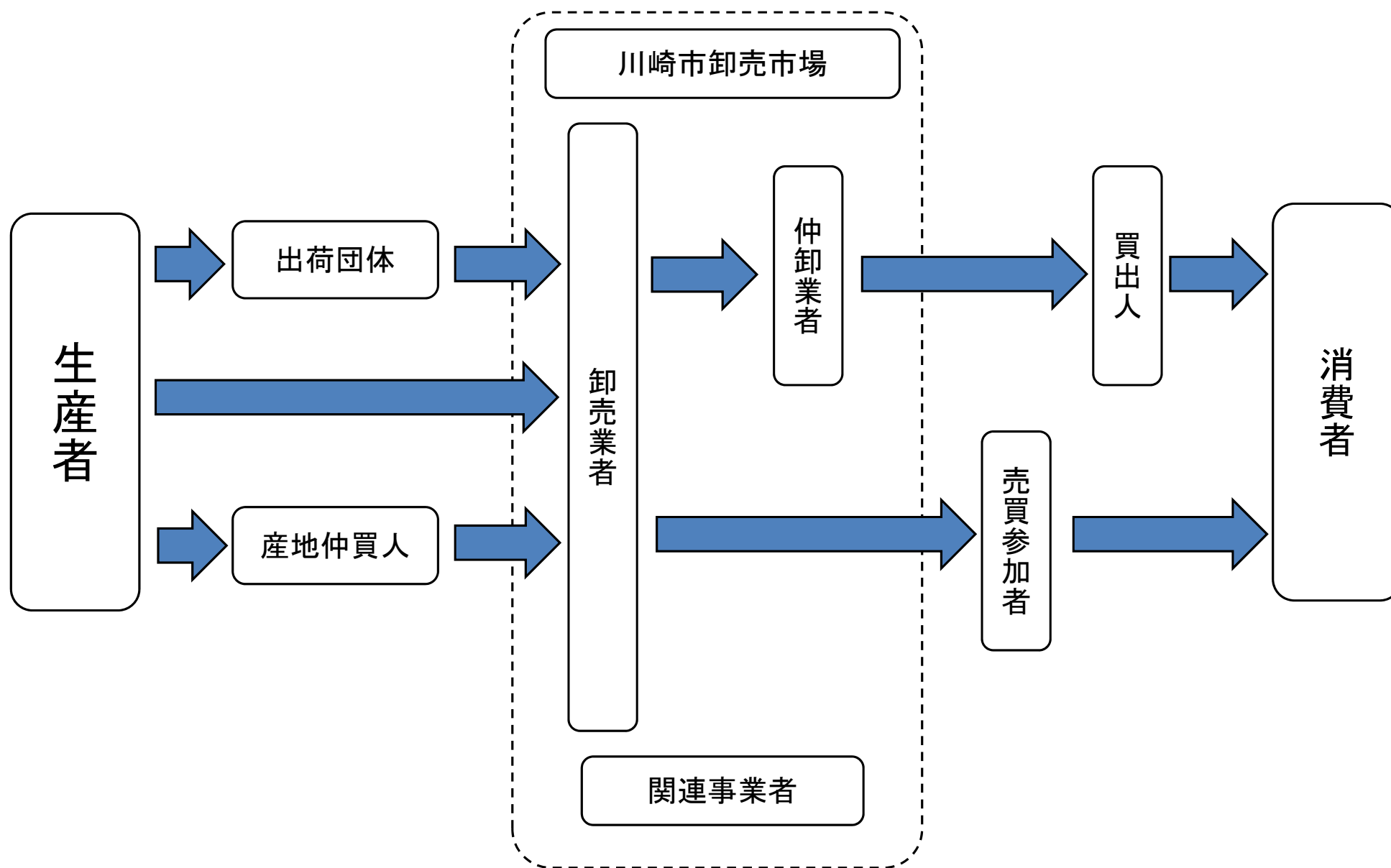
■市場取扱高(平成26年)

部 類	数量	金額
青果部	約11万2千トン	約267億円
水産物部	約2万9千トン	約263億円
花き部	4千7百万本束個	約29億円

■市場関係事業者(平成27年4月1日現在)

部 類	卸売業者	仲卸業者	売 買 参加者	関 連 事業者
青果部	1社	18社	150	76社
水産物部	2社	50社	6	
花き部	1社	2社	504	

流通のしくみ



●市場の適正かつ効率的な管理運営と活性化

- 市場施設等の使用指定・許可を行い、使用料を徴収
- 卸売市場の果たす役割と魅力を広くPRする市場活性化対策事業等を実施

●市場関係事業者への業務許可、取引に対する指導監督

- 仲卸業者・関連事業者への業務許可、売買参加者の承認
- せり人の登録等、市場における売買取引の指導監督

●市場施設の整備及び適切な維持管理

- 市場施設の維持・補修、再整備事業を実施
- 市場内清掃・廃棄物処理等、環境にやさしい「エコ市場」の実現

市場施設内の様子



青果 せり



水産 せり



花き せり



青果棟



水産棟



花き棟

首都圏における川崎北部市場と他市場の現状（平成26年 青果）

● 取扱量の大きさ（大きいほど取扱量が多い）



首都圏における川崎北部市場と他市場の現状（平成26年 水産）

● 取扱量の大きさ（大きいほど取扱量大きい）



首都圏における川崎北部市場と他市場の現状（平成26年 花き）

● 取扱量の大きさ（大きいほど取扱量大きい）



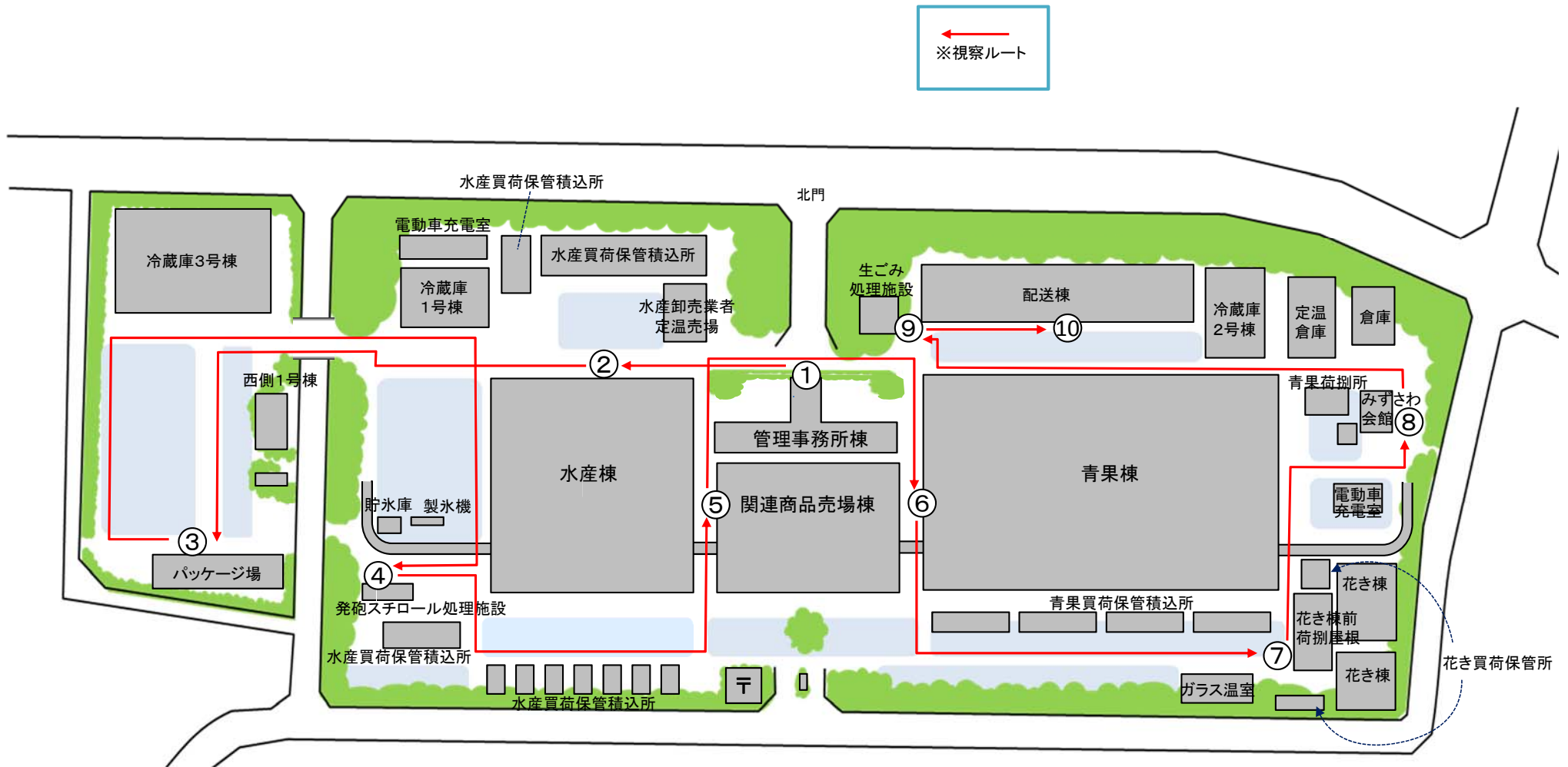
●川崎市卸売市場経営プランの策定

- 社会環境の変化に応じて将来的に機能を維持し、持続させるための方針及び方向性を明らかにする
- 平成28年度から平成37年度までの概ね10年間を計画期間として、開設者と市場関係者が一体となって策定(平成27年度策定予定)

●北部市場水産物部の再編基準に対する取組

- 昨年11月、国の「市場再編基準の該当状況」調査において、再編基準の指標に該当したため、今年度、検討部会を設置。国の第10次卸売市場整備基本方針の公表(H27年度中)後、今後の対応について検討し国と調整

市民委員会 北部市場視察ルート（平成27年11月19日）



- ①管理事務所棟
- ②水産棟
- ③パッケージ場
- ④発泡スチロール処理施設
- ⑤関連商品売場棟

- ⑥青果棟
- ⑦花き棟
- ⑧みずさわ会館
- ⑨生ごみ処理施設
- ⑩配送棟